

「コロナ差別」を考える

新年あけましておめでとうございます。平素は「人権機関有田川」の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年だったように思います。あらゆる生活様式の変更を余儀なくされました。今後も新型コロナウイルスありきの生活になると思っています。

今年度は「人権機関有田川」の啓発活動も思うようにできておりません。いつも大勢の方にご参加いただいております。「人権映画会」や「人権講演会」を一度も開催できていません。そのような中、人権啓発標語の募集には例年とほぼ変わらないうえに1064作品の応募がありました。また夏休みが例年より短い中、小学生の皆さまも多数ご応募いただきました。誠にありがとうございます。われわれ「人権機関有田川」の理事14人で一生懸命に選考をいたしました。いずれの作品も素晴らしい、選考では大変悩みました。来年

度も多数のご応募をお待ちしております。

来年度は感染対策に気をつけながら人権映画会や人権講演会を開催していきたいと考えております。毎回、ご参加いただいた方にはアンケートの記入にご協力をいただいております。「大変良かった」「次回も参加したい」というお声をたくさんいただきます。まだ参加したことがない方も、ぜひ一度参加してみてください。

さて、「コロナ差別」という新しい人権問題があります。新型コロナウイルスに感染した人やその家族・学校・会社などが偏見の目で見られ、誹謗中傷されるということは、あってはならないことです。われわれが闘わなければいけない相手は、感染した人やその家族ではなく、ウイルスそのものです。新型コロナウイルスが怖いからといってその矛先を感染した人やその家族に向けるのは間違っています。

新型コロナウイルスのことを正しく知り、正しい対策をし、正しく恐

れる。

みなさん、今一度「思いやり」の心を持って、「コロナ差別」という問題を考えてみてはいかがでしょうか。

人権機関有田川 会長 宮尾純

人権啓発標語の優秀作品

町民の皆さま一人一人に、人権について考えていただきたいという願いから、人権機関有田川・有田川町・有田川町教育委員会では、人権啓発標語の募集を毎年行っています。

今年度は「思いやり」をテーマに募集したところ、1064作品が集まりました。たくさんのご応募ありがとうございました。優秀作品をご紹介します。

●小学生の部

最優秀賞

コロナでも心は密に寄り添える
安諦小学校6年 近藤陽人さん

優秀賞

「それはダメ！」
その言葉にも思いやり
藤並小学校4年 碓本華瑠さん

●中学生の部

最優秀賞

さしのべよう
思いやりの手さりげなく
吉備中学校2年 坂野颯星さん

優秀賞

思いやりできるよきつと誰にでも
吉備中学校2年 片嶋崇乃さん
ときにはそっとしておく思いやり
吉備中学校1年 山下愛奈さん

●一般の部

最優秀賞

思いやり溢れる街に未来あり
竹中榮さん(小川)

優秀賞

さりげない君の優しさ見つけたよ
花田和香奈さん(井口)

お知らせ

人権特設相談所

1月21日(木)、人権特設相談所を開設します。相談は無料で、秘密は厳守します。

●場所/金屋文化保健センター

●時間/13時から16時まで

電話による人権相談窓口

・みんなの人権110番/さまざま
な人権問題の電話による相談
☎0570・003・110

■人権に関する問い合わせ

有田川町教育委員会 社会教育課
電話 22・4513
ファクス 32・4827